

## 山北町第6次総合計画（素案）に対する 意見募集（パブリックコメント）の結果

1. 募集期間 令和6年1月17日（水）から1月31日（水）まで
2. 周知方法
  - ・ 広報やまきたおしらせ版
  - ・ 町公式ホームページ
  - ・ 町あんしんメール
  - ・ 町公式X【旧 Twitter】
3. 閲覧場所 町役場企画総務課、清水・三保支所、町公式ホームページ
4. 提出方法 直接持参、郵送、ファックス、電子メール
5. 意見数 4件（2名）
  - 【内訳】
    - ・ 町内在住者 2名
    - ・ 電子メール 2名

## 6. 意見の概要及び町の回答

| No. | 項目                                      | 提出されたご意見の概要  | 町の回答  | 修正の有無 |
|-----|---|--|---|-------|
| 1   | 意見募集について                                | 膨大な計画書を短期間で読み込むことは不可能だった。一人でも多くの町民に少しでも計画書に触れてもらいたい考えであれば、全体を要約した内容の記載や、視覚的に理解しやすい資料を提示するといった工夫も必要ではなかったか。   | ご意見ありがとうございます。ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。   | 修正なし  |
| 2   | 全般について                                  | 網羅的な計画書であることは理解しているが、問題解決の方法に関しては表現が曖昧で現実的な方策と感じられない。限られた資源で、これまで解決が難しかった問題を夢のように解決できるはずもなく、「がんばります」調が目立つように感じた。もっと優先順位を明確にして、その分野に関しては現実的で緻密な計画を提示して欲しい。  | ご意見のとおり、総合計画は総合的かつ計画的な行政運営を行うための基本となる計画です。総合計画では大きな方針を示し、具体的な内容は分野別に個別計画を策定して取り組んでいきます。なお、基本構想の「第4章将来像」を実現するため、特に関連する取り組みを、「第6章重点プロジェクト」に位置付け、優先的に実施していきます。 | 修正なし  |
| 3   | 【基本計画】<br>第4章 産業振興分野<br>第3節 観光業<br>基本方針 | 「富士・箱根・伊豆交流圏（SKY 広域圏）を踏まえた広域観光ルート整備の促進を図るとともに、観光拠点を結ぶ基幹ルートや楽しく歩ける多彩な町内周遊コース…」とあるが、昨今、圏域で増えているサイクリングへの対応は必須であり、「楽しくサイクリング出来る」の文言を入れるべきと思う。そのためには、レーンの設置や駐輪場の拡充など交通インフラの整備や安全性向上が不可欠である。また、サイクリングは環境に優しく、観光地をより深く探索することができる。観光地間の距離を軽減するとともに連携を促進する役割も果たすため、圏域全体の魅力を引き立て、広く訴求することが期待される。 | 本町は急峻な地形や狭隘道路が多いため、自転車通行空間の整備が難しい状況です。自転車の通行は安全性が最優先されることから、町では現時点で広域的なサイクリング環境の整備について検討しておりません。このため素案どおりといたします。  | 修正なし  |
| 4   | 【基本計画】<br>第5章 都市基盤分野<br>第2節 交通基盤        | 交通基盤の整備は町の最優先課題と考えるが、本計画からその課題を解決する方策が感じられなかった。最優先事項として全力を挙げ、スピード感を持って取り組まなければならない課題である。広大な本町において非常に難しい問題ではあるが、高齢者を含めて「安心できる交通基盤が将来的には整っていく」ことが納得できなければ、関係人口の拡大はもとより、健康・医療、教育、産業振興など、あらゆる分野の計画が絵に描いた餅で終わってしまうのではないか。   | 現在町では、町民の代表者や交通事業者、国・県・町などで構成する「山北町地域公共交通会議」において、「山北町地域公共交通計画」の策定に取り組んでいます。今後は策定した計画に示された施策や事業について、地域の意見を聞きながら検討し、新たな移動サービスの導入を図っていきます。                     | 修正なし  |